

2025年度「愛媛介護川柳」入選句のお知らせ

- ◆ 応募期間：2025年7月1日～8月31日
- ◆ 応募総数：1,057句

厳正なる審査の結果、入選11句が以下のとおり決定致しました。

.....

★最優秀賞★ (1句)

「母さんの爪を切ったの初めてだ」 (なかのひろみ 様)

【最優秀句の講評】 選者：八木 健

この句には二つの気持ちが交錯している。

「いつの間にか介護が必要になってしまったという現実への衝撃」と

「子として母親の介護ができる喜び」である。

さらに深読みをすれば、「いつの日か自分自身も子どもから介護を受ける立場になるのだろう」という伏線もにじんでいる。

★優秀賞★ (10句)

かみ合わせぬ会話で今日もひと笑い	(とーん 様)
まあいいかそれができたら名ケアラー	(smile 様)
「よく噛んで」昔は母から今母へ	(支え合うんジャー 様)
手伝いたい気持ちを抑える見守り隊	(ゆず太郎 様)
「言い過ぎた」言えず無言で桃をむく	(335 様)
孫の手は祖父母にとっては魔法の手	(2児のママ 様)
役目終え今青春のおばあちゃん	(たーたん 様)
未来見て自分もされたい介護する	(ルイボス 様)
父と母歩幅そろえて遅くなり	(赤トンボ 様)
泣く子より黙る母こそ気にかかる	(はむちゃんず 様)

.....

たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

2025年11月吉日

一般社団法人愛媛県法人会連合会
働く家族の介護力強化事業